



# 阿波藍ルーム

## Awa natural indigo Room

徳島県 × 阿波藍の匠〈阿波藍魅力創造発信プロジェクト〉 × ルネッサンスリゾートナルト

江戸中期から明治にかけて、山形の紅花とともに天下を藍色で覆ったともいわれる徳島の藍。阿波藍ルームはその伝統的な技法を今に伝える徳島を代表する“藍染めの匠”が「阿波踊り」や「渦」などをテーマに仕上げた個性的で意匠美に満ちた客室です。

### ～阿波藍～

徳島で栽培されたタデ科の植物である藍の乾燥葉を発酵させて作る天然藍染料「すくも」のことを言い、今も5軒の藍師が伝統製法を守りながら作り続けています。

### ～阿波藍天然灰汁発酵建て～（\*科学薬品などは一切使用しません）

「すくも」を堅木の灰汁で溶き、自然素材（ふすま・芋・石灰・灰汁・酒など）とともに発酵させて藍を建てる江戸時代から継承されている藍染の染色液を作る技法のことです。

### ～本藍染～

阿波藍天然灰汁醗酵建ての技法で作られた藍染の染色液で、手間と時間をかけて染められた貴重な藍染めだけが「本藍染」です。阿波藍ルームでは数々の本藍染に触れることができます。



客室の広さ 62㎡（10畳+6畳+広縁）

客室数：4室

502号室 矢野藍秀

509号室 古庄紀治

602号室 近藤美佐子 / 藤森美恵子

609号室 ふたあい政則はらだ

藍染建材：河野真空プレス

藍塗建材：大利木材

### 【協力/監修】

徳島県観光政策課、  
阿波藍魅力創造発信プロジェクト  
クリエイティブ徳島協同組合

### <本件に関するお問い合わせ先>

〒772-0053徳島県鳴門市鳴門町土佐泊字大毛16-45

ルネッサンスリゾートナルト

セールス マーケティング

塩崎桂子

E-mail:k-shiozaki@hos-rrn.co.jp [renaissance-naruto.com](http://renaissance-naruto.com)

TEL：088-687-2580（代表）FAX：088-687-2211

**R**  
**RENAISSANCE\***  
NARUTO RESORT

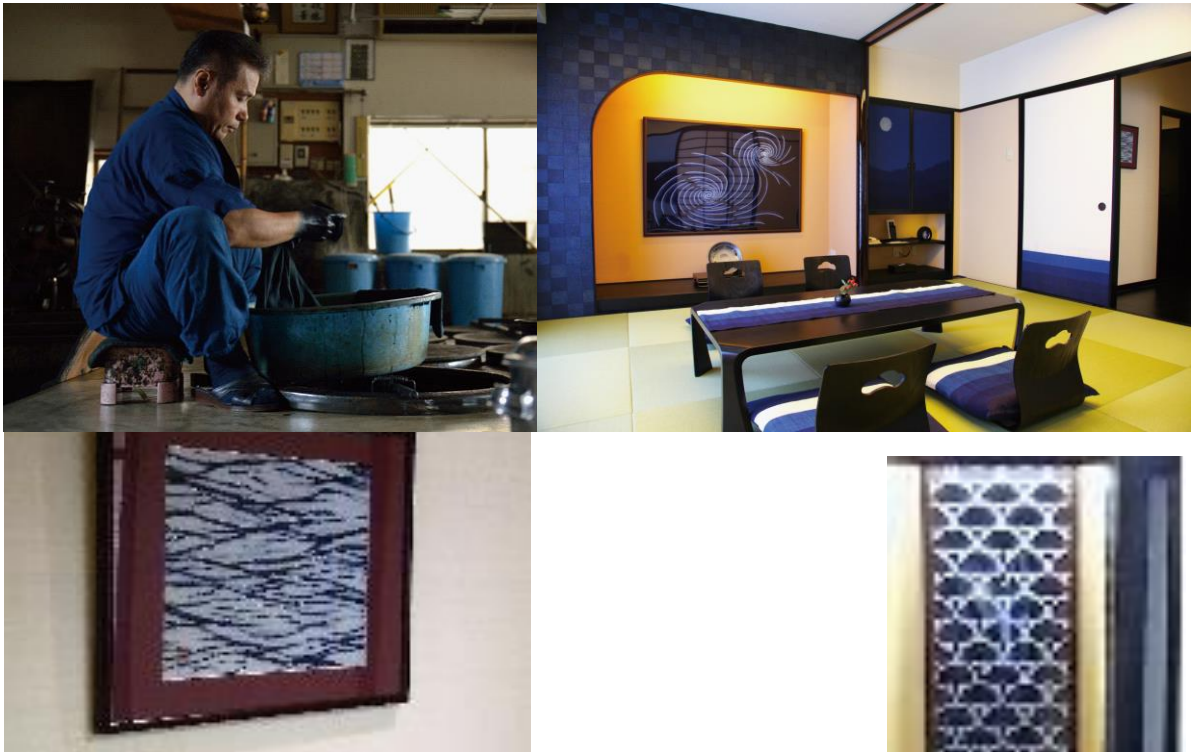
ルネッサンスリゾートナルト

## ■ 502号室 矢野藍秀 プロデュース テーマ 鳴門の渦潮・波・青海波

### プロフィール

1963年 徳島県板野郡藍住町出身、1984年、阿波藍を守りつづけてきた徳島の佐藤家19代目の藍師である佐藤昭人氏に師事、阿波藍造りを学び、天然灰汁醗酵建てによる本藍染を開始。  
1987年、日本藍染文化協会より「天然灰汁醗酵建技術保持者」の認定を受ける。  
1989年、有限会社 本藍染矢野工場を設立。2004年、インドネシア、ジョグジャカルタ王室より依頼を受け、バティックを制作、翌2005年には曹洞宗大本山総持寺、大法被修復藍染を担当。  
2012年NHK大河ドラマ「八重の桜」でオープニングのタイトルバックを制作。2015年徳島県地域文化振興表彰ならびに、観光ユニバーサル大賞受賞。2018年フランスジャポニズム2018「地方の力～祭りと文化」へ参加。

502号室では、青海波や渦潮をモチーフに阿波藍ルーム新設のために染め上げられた藍染作品の数々がお部屋を彩ります。本物の阿波藍が持つ魅力、藍染の匠 矢野藍秀ならではの世界観をお楽しみください。



### 阿波藍染作品

玄関ドア前壁面/本藍染「青海波」文様（額入り）  
廊下の藍染作品（1点/額入り）「波」本藍染ムラ雲絞り  
床の間の藍染作品（1点/額入り）「鳴門渦潮」本藍染ししげ絞り 藍返し  
テーブルセンター（1点）「波」  
座布団カバー（4点）  
本藍染建具：本間ふすま2枚 開き戸 / 次の間ふすま3枚  
本藍染建材：床の間（矢野工場・河野真空プレス）



## ■ 509号室 古庄紀治 プロデュース テーマ 無

### プロフィール

1947年生まれ徳島県出身 紺屋 古庄藍染處 六代目。

五代目 故 古庄理一郎翁は、日本の伝統の復興に生涯をささげた人で、昭和47年天然藍染による注染法完成、また昭和52年には天然藍染（灰汁醗酵建て）による小紋を完成。息子の紀治氏は、大学卒業後、先代の古庄理一郎氏の見習いとして紺屋職人としての道を歩み始める。父、理一郎氏の化学染料を一切使わない昔ながらの天然藍染めにこだわり続けた背中をみて育った紀治氏は、化学染料を一切使わないのが当たり前だという環境で、藍に接してきました。1998年には、厚生労働省より国選定卓越技能章「現代の名工」として表彰され名実ともに、藍染めの第一人者として地位を確立しています。

阿波藍ルーム（509号室）では「現代の名工」古庄紀治氏の伝統美あふれる秀悦した藍染作品に囲まれ、上質な滞在をお楽しみいただけます。



### 阿波藍染作品

玄関ドア前壁面/本藍染 ぼかし（額入り）

廊下の藍染作品（1点/額入り）「鳴門の渦潮」 ※写真1

床の間の藍染作品（1点/額入り）\*幾何学文様

テーブルセンター（1点）

座布団カバー（4点）\*幾何学文様

本藍染建具：次の間ふすま8枚連作 ※写真2

網代編み本藍染建材：床の間（矢野工場・河野真空プレス）



※動画をご覧ください。  
(You Tube)



近藤美佐子 プロフィール

徳島県東みよし市出身、2011年、藍工房「たった一本の幸せ」を設立。  
自身の工房で葉藍からすくもを作った経験もあり、現在も灰汁発酵建ての染色方法に  
こだわり作品を作り続けている。

藤森美恵子 プロフィール

阿波和紙製造業を営む藤森家に嫁いできて、紙づくりの現場を縁の下で支えてきました。  
子育てがひと段落してから、本格的に藍染和紙に取り組むようになり、義母のツネの手  
伝いをしながら、藍で和紙を染めるさまざまな技術を学んできました。今ではアワガミ  
ファクトリーでアワガミの藍染和紙作りの中心を担う染師となりました。

床の間の装飾や備品を近藤美佐子さんが、ふすまなどの建具を藤森さんが手がけました。  
二人の「阿波女」が女性ならではの繊細な感性で生み出したオリジナルなお部屋でのご  
滞在をお楽しみください。



藍工房 たった一本の幸せ  
近藤美佐子



ワガミファクトリー  
染師 藤森美恵子



阿波藍染作品 近藤美佐子

廊下の藍染作品（ファブリックボード4点） 女踊り・波文様 ※写真1

床の間の藍染作品（1点/額入り）「水辺の舞台」

テーブルセンター（1点）

藍染建具 藤森美恵子

次の間の襖 阿波和紙に藍染 ※写真2

\* 本間の障子は、阿波和紙に藍色のスレン染め

藍塗建具 玄関外、床の間 大利木材

## ■ 609号室 ふたあい政則はらだプロデュース テーマ 月（球体）

### プロフィール

1952年生まれ徳島県鳴門市に生まれる。写真家のかたわら1976年から藍染の研究をはじめ、1988年鳴門市池谷に藍染工房「ふたあい」を設立、大阪 神戸 高松 高知など各地で個展を展開、1991年朝日現代クラフト展入選、以降、皇太子や天皇陛下が来徳の折のご休憩所の装飾などに携わる他、徳島県が天皇陛下（宮内庁）に県の工芸品を献上する折の作品を手掛けるなど、阿波藍の魅力発信に貢献し続けている。

伝統とモダンを調和させる現代の藍染職人で、工房名の「ふたあい」には伝統色である「二藍」とクロスオーバーする従来の藍染めと現在の藍染め「ふたつの藍」という思いが込められているという。藍染めの中でも珍しい型染め技法から生まれる作品は、写真家のかたわら藍染の研究をはじめた異色のキャリアのもつ感性と、試行錯誤を重ねて生み出した繊細な職人技が光る逸品。

阿波藍ルーム（609号室）では、阿波藍600年の伝統美にモダンさを融合した独特の世界観が漂うふたあい政則はらだ氏の作品をお楽しみください。



### 阿波藍染作品

玄関ドア前壁面/本藍染 型染め

廊下の藍染作品（1点/額入り）「波間の月に遊ぶうさぎ」

床の間の藍染作品（1点/額入り）「月に飛鶴文」

テーブルセンター（1点）

座布団カバー（4点）球体幾何学模様

本藍染建具：本間ふすま2枚 次の間ふすま3枚 ※写真1

本藍染建材：床の間（矢野工場・河野真空プレス）